

# Visual Basic Version 4.0 試用版

Visual Basic Version 4.0 試用版は、Visual Basic Version 4.0 シリーズの概要を知っていただくためのものです。このプログラムに関するお問い合わせには内容にかかわらずお答えできません。この試用版は、開発途中のベータ版をもとに作成されているためその動作や仕様が製品版と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、Visual Basic の試用以外の目的でのご利用およびこのプログラムの再配布はご遠慮ください。

## 試用版の注意事項

- ◆ 試用版をインストールするには、CD 上の SETUP.EXE を実行してください。SETUP.EXE を実行した後は、セットアップの指示に従って操作してください。
- ◆ 試用版は開発途中のバージョンであるため、製品版をご購入の際には、必ず 試用版を削除してから製品版をインストールしてください。試用版を削除するには、再度 CD 上の SETUP.EXE を実行して [すべて削除] を選択してください。

## 機能の制限事項

試用版では以下の機能が制限されています。

- ◆ カスタム コントロールをデザイン時に利用することはできません。
- ◆ カスタム コントロールの概要に付きましては、カスタム コントロールの機能を紹介するためのデモが付属していますのでそちらを参照してください。デモを起動するには、[アビ]メニューから [コントロールのデモ] を選択してください。
- ◆ Jet 3.0 用のデータベース以外のデータベースへのアクセスはできません。
- ◆ Access 1.1J、2.0 のデータベースへのアクセスもできません。
- ◆ (製品版では、Access、dBase、Excel、FoxPro、Lotus(32 ビット版のみ)、Btrieve(16 ビット版のみ)、テキストへのデータ アクセスが可能です。)
- ◆ ODBC をサポートしていません。
- ◆ EXE、DLL ファイルを作成できません。
- ◆ アプリケーションの配布ディスクは生成できません。
- ◆ 2つまでのモジュールのみ利用できます。
- ◆ DataMgr アプリケーションは利用できません。

## 動作環境

試用版を使用するに以下のハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

- ◆ Microsoft Windows NT Version 3.51 またはそれ以降のバージョン、あるいは Microsoft Windows 95 が必要です。
- ◆ i486 以上の CPU。
- ◆ Windows に対応している 640x480 以上の解像度を持つディスプレイ。
- ◆ Visual Basic の開発環境用に 12MB 以上のメモリが必要です。
- ◆ CD-ROM ドライブが必要です。

## 製品版の機能概要

### Standard Edition

Standard Edition は簡単かつスピーディに Windows 95 用のアプリケーションを開発するための強力な開発環境を提供します。32 ビット プログラミングの学習にも最適です。

- ◆ 32 ビット アプリケーションの開発
- ◆ 使いやすいオンライン ヘルプの搭載

- ◆ Windows 95 にマッチしたアプリケーションの作成
- ◆ 変数のウォッチ、ブレイクポイント、プロシージャ呼び出し履歴など強力なデバッグ機能
- ◆ 標準コントロールに加えてデータ連結グリッド、コモン ダイアログなど 20 種類以上のコントロールを添付
- ◆ データベースに簡単かつスピーディにアクセスするためのデータ コントロール
- ◆ Microsoft Access, FoxPro, dBase などのデータを利用可能なデータベース エンジン
- ◆ アプリケーション開発に利用できる多数のサンプル ソース、ビットマップおよびアイコン

## Professional Edition

Windows 95、Windows NT 3.51 および Windows 3.1 上で動作するアプリケーションの開発環境を提供します。OLE サーバーやアドイン アプリケーションの作成や多数の便利な カスタム コントロール、Crystal Report Writer、セットアップ ウィザード など便利なツールが満載、本格的なプログラム開発ツールとしてご利用いただけます。

Standard Edition の機能に加えて以下の機能を装備しています。

- ◆ 16 ビット および 32 ビット アプリケーションの開発
- ◆ サードパーティ製のモデリングツール、バージョン管理ソフト、ウィザードなどの開発のための公開されたアドイン インターフェース
- ◆ 作成したアプリケーションの配布ディスクを生成するためのセットアップ ウィザード
- ◆ OLE コントロール、OLE サーバーの利用と DLL の呼び出しのサポート
- ◆ 16 ビット、32 ビット間や、デバッグ、リリース版のソースを共有するための条件コンパイル機能
- ◆ Windows リソース ファイル中に格納された文字列やアイコン、ビットマップなどの参照機能
- ◆ 3D 表示やマルチメディア、MAPI などの多種にわたる強力なカスタム コントロール
- ◆ Windows 95 ライクなアプリケーションを実現するための 11 の Windows 95 コントロール
- ◆ 複雑なデータ操作を実現するデータベース エンジンを プログラミングによって完全に操作可能
- ◆ Jet データベースのリアプリケーションをプログラミング可能
- ◆ 完全な ODBC 2.0 対応(SQL サーバー用ドライバを添付)
- ◆ データベース、テーブル、フィールドおよび索引の作成と操作のためのデータ マネージャ
- ◆ 外部プロセス OLE サーバーの作成
- ◆ インプロセス OLE サーバーの作成
- ◆ レポート出力機能を大幅に強化する Crystal Report Writer の標準装備

## Enterprise Edition

ユーザー、ビジネス、データ サービスの 3 分化アーキテクチャーに基づくクライアント・サーバーシステムの構築に最適な開発環境をご提供いたします。また、大規模なアプリケーション開発のためのバージョン管理機能もご利用いただけます。

Professional Edition の機能に加えて以下の機能を装備しています。

- ◆ 3 階層(ユーザー、ビジネス、データ サービス)の分散化アプリケーションの構築
- ◆ 分散化アプリケーション モデルを実現するリモート オートメーション テクノロジーの導入
- ◆ 1 台のコンピュータ上での分散化アプリケーション開発とデバッグ環境
- ◆ リモートマシン上での OLE コンポーネント管理のためのコンポーネント マネージャ
- ◆ 分散化アプリケーションのパフォーマンスを最適化するプール マネージャ
- ◆ SQL Server 用に最適化された高速なリモート データ コントロール
- ◆ ソースコードの差分、共有、履歴管理をする Visual SourceSafe バージョン管理システムとの統合
- ◆ プログラミングによってリモート データベースにアクセスするためのリモート データ オブジェクト
- ◆ 分散化コンポーネントへのアクセスを管理する RPC ベースのセキュリティ管理
- ◆ 多くの標準的なネットワーク プロトコルに対応した分散化ネットワーク アプリケーション

## 製品版の動作環境

製品版 Visual Basic 4.0 を使用するに以下のハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

- ◆ 16 ビット版では、スタンダードモードまたは 386 エンハンスドモードで動作する Microsoft Windows 3.1 または、それ以降のバージョンが必要です。32 ビット版では、Microsoft WindowsNT Version 3.51 またはそれ以降のバージョン、あるいは Microsoft Windows 95 が必要です。
- ◆ i486 以上の CPU。
- ◆ Windows に対応している 640x480 以上の解像度を持つディスプレイ。
- ◆ 作成したアプリケーション用に 4MB 以上のメモリが必要です。必要なメモリ容量は、利用するライブラリや DLL などによって異なります。
- ◆ Visual Basic の開発環境用に 12MB 以上のメモリが必要です。